

第2回川崎市議会 定例会のご報告

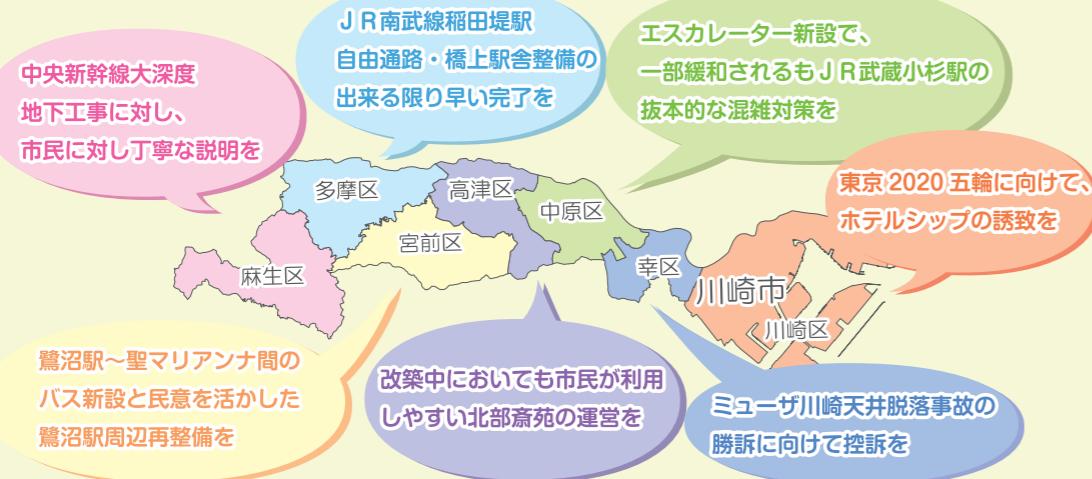
平成30年第二回定例会代表質問より

災害救助法改正に伴う権限移譲に問われる市の役割

史上初の米朝会談が行われた翌6月13日、朝鮮半島の非核化や拉致問題解決への決意を胸に、諸議案ならびに市政一般について質問致しました。特筆すべきは、市長が「災害救助基金の積立必要額は約10億円」と答弁したことであり、財政的に厳しい中、今後いかにして財源を確保するかが課題となります。災害救助法改正により、応急仮設住宅の整備をはじめとする救助事務の権限が県から政令市へ移譲されたことにより、災害時における市の役割が問われています。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けてインバウンド誘客が見込まれていますが、公益社団法人川崎・砂子の里資料館の協力をいただき、海外でも人気の高い浮世絵の展示に向けた環境整備が図られることになりました。また、議案関係については、川崎市職員退職手当支給条例の改正の質疑において今年度の定年退職予定者数や減額に伴う財政効果等を明らかに致しました。平成32年度には羽田連絡道路の完成が見込まれ、羽田空港に隣接する川崎市は大きな可能性を秘めています。今後とも、次代の繁栄、確実な未来に責任を持つべく「自らで創りあげる都市、川崎。」の実現をめざして参ります。



代表質問における各区重要施策



お出掛けするなら今年は10月!!

国の「保護者の有給休暇取得促進」を受け、川崎市では、試行実施として、10月8日の体育の日の翌日を川崎市独自の休日（家庭と地域の日）とする事を決めました。地域教育会議等、地域で活動する団体に対して、体験的学習活動等を10月9日にお願いし、市民館等の会場に誘致していくとしています。お子さんやお孫さんと一緒に利用して、遠出されるのも楽しい思い出作りとして良いと思いますが、この休日を利用して市内で開催されるイベントにご家族で参加されてはいかがでしょうか？

10/6(土)

10/7(日)

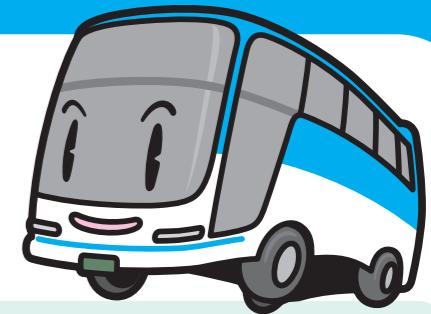
10/8(月)
体育の日



特集

新設バス路線!!

～鷺沼駅から聖マリアンナ医科大学前～



川崎市内各区と比べ駅が少ない宮前区では、市民の足としてバス路線の充実が欠かせません。従来から、重要医療拠点である聖マリアンナ医科大学と、利用者の多い地域生活拠点である鷺沼駅を結ぶバス路線の新設が強く求められてきました。この間議会では、当方含め超党派で路線新設を要望し続け、この度（東急バス、小田急バス、市バス）3事業者合同運行という形で実現の見通しが整いました。

気になる運行計画は？

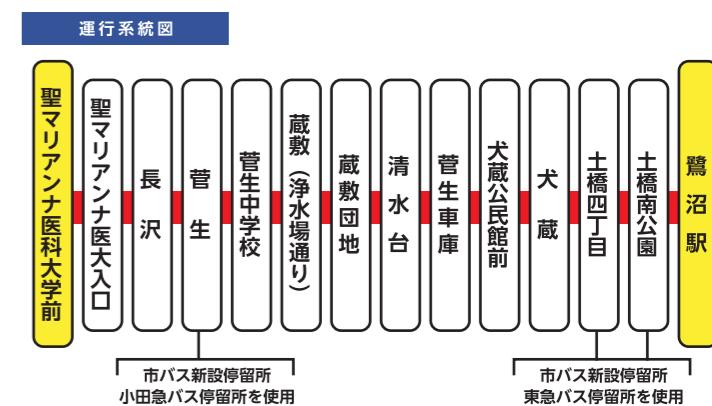
- 平成30年秋頃運行開始で調整中
- 運行経路：鷺沼駅～清水台～聖マリアンナ医科大学前（約5.4km）
- 運行時間帯：日中時間帯の運行とし、運行本数等の詳細は調整中



なぜ3事業者共同なの!?なぜ運行は日中時間帯のみなの!?

宮前区内のバス事業者である市バス、東急バス、小田急バスにはそれぞれ営業範囲（いわば縄張り的なもの）があります。従来から鷺沼駅では東急バスが、聖マリアンナ医科大学付近では小田急バスが運行の中心を担っています。この度の合同運行では、それぞれの運行範囲を超えて連携する取組です。鷺沼駅に小田急バスが、聖マリアンナに東急バスが走ることは、以前から考えると進んだ取組と言えます。

また、なぜ需要のある朝夕の時間帯の運行が無く日中時間帯のみなのか？通勤・通学の方々だけでなく、診療に来られる市民にとっても、時間帯の充実が求められますが日中時間帯のみになってしまっているのには、鷺沼駅前バスロータリーの事情があります。



密接に絡む「鷺沼駅周辺再整備計画」!! バスロータリーの改善に向けて

【問題認識】

右写真のように、早朝などのピーク時間帯のバスロータリーはすでに新設のバスが入り込むことができない状態となっています。この度のバス路線新設はピーク時間帯を外したからこそ、運行の見通しが整いました。バスロータリーを抜本的に見直さない限り、運行時間帯の拡充は困難です。現在、進められている鷺沼駅周辺再整備計画はこれらの課題の解決にも大きく寄与します。しっかりと推進していきたいと思います。



写真：平日朝の鷺沼駅ロータリー